

京都大学（北部）総合研究棟改修（農学部総合館）
施設整備等事業

要求水準書

【別表 2】（11/12 訂正版）

（赤字部分訂正箇所）

※ A～Rの分類で該当するものだけ掲載

各エリア特殊条件

平成16年11月12日

京都大学

【別表 2】 (B)

森林科学共通	複合材料科学	生物材料学	林産加工学	設計学
繊維学	樹木細胞学	山地保全学	熱帯農学	森林利用学
環境デザイン学	森林生物学	生物材料設計学	熱帯林環境学	生物材料科学
生物繊維学	森林人間関係学			

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
B001 NMR室	<ul style="list-style-type: none"> ・NMR(核磁気共鳴スペクトル)の測定 ・床・壁に部屋全体で磁気シールドが必要(仕様) ・特殊配管については、液体He回収配管を設置する。 ・100V電源の位置(高さ)など実施設計時に確認する ・超電導磁石付近には、磁性体を近くにこないように配慮要。特に超電導磁石上室に蛍光灯がこないように配慮する ・空調、換気設備の機器配置も充分配慮すること。
B002 分析機器室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物素材の物理的、化学的性質とその構造を解析する ・親子開扉:2ヶ所設置
B003 木工室	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の加工や計測に関する実験、加工実習に使用する ・クレーン等:2tレール形式(工材機械や大型材料の搬入、搬出、移動)及び走行レールを設置する ・集塵装置及びダクトを設置する。ダクトは天井に配置し、集塵装置本体は室外に設置する。 ・室の北側(中庭側)に搬入口を設け、中庭側にスロープを設ける ・両開扉:W1.8×H2.0、4ヶ所設置(中庭側に大型搬入口が必要なため)
B004 材料試験室	<ul style="list-style-type: none"> ・木材及び木質系材料の試作および強度試験に使用する ・ステンレス製流し台(1台) ・両開扉:W2.4×H3.0、1ヶ所設置 ・試験装置、オイル冷却用クーリングタワーを設置する。(移設は別途) ・給湯設備:オイル等で汚濁した手や試験機部品の洗浄 ・重量物:大型機器の搬出入がある
B005 X線室	<ul style="list-style-type: none"> ・X線回析装置、蛍光X線分析装置など、X線発生装置を集中的に設置する ・簡易的な暗室を設置する ・親子開扉:1ヶ所設置
B006 倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻共通倉庫として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・除湿器(備品)用のドレン配管を設置する

エリア(室名)	特殊条件
B008 水理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・水理実験に使用する ・窓には暗幕を使用 ・床:水洗等して使用 ・両開き扉:W1.8×H2.4、1ヶ所設置 ・実験水槽への吸水(大口)のため実験措置用給排水を設置する ・ポンプ使用のため、220V電源を設置する ・重量物:実験水路 ・低水槽:2ヶ所
B009 生物材料化学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物材料(主に木材成分)に関する化学分析に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
B010 特殊実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・大型試料の作製及び材料のレオロジー、耐候性、分解性等の試験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・プラストミル装置の試薬投入口周囲の雰囲気を排気フード及び排気ファンを設け屋外に排出する
B011 精密計測室	<ul style="list-style-type: none"> ・材料等の精密計測に関する実験・実習に使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B012 試験体調整室	<ul style="list-style-type: none"> ・木材及び木質系材料試験体の調理、整形に使用する ・ステンレス製流し台 ・両開扉:W2.4×H3.0、1ヶ所設置 ・実験装置用給排水:水冷式恒温恒湿機の冷却水 ・重量物:大型機器の搬出入がある
B013 地下研究実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・抄紙及び関連する実験に使用する ・親子引戸:W = 1.25m × H=2.0m、1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B014 湿潤環境実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・湿潤環境下での実験、特に抄紙場及び関連する実験に使用する ・親子引戸:1ヶ所設置
B015 恒温恒湿室	<ul style="list-style-type: none"> ・試料の諸物性測定、化学構造の分析(計測機器・光学分析装置)、一定温湿度下での化学反応実験に使用する ・所定期間、試料の状態調節を行った後、各種測定、分析、反応に供するので、再現性のよいデータを得るために厳密な温湿度コントロールが必要とする ・片開扉:1ヶ所及び片引戸:1ヶ所設置
B016 植物育成室及び試料保存室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物育成のために各種の恒温培養装置ならびに資料保存のための植物超低温冷蔵庫を設置する ・親子開扉:2ヶ所設置
B017 山地利用熱農共同実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌材料の保管と処理に使用する ・両開扉(H2.4×W1.8)1ヶ所設置
B018 土質実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌実験に使用する ・両開扉(H2.4×W1.8)1ヶ所設置
B019 水理実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・水理実験に用いる装置・試料の準備・点検・格納に使用する ・両開き扉:W1.8×H2.4、1ヶ所設置 ・ポンプ使用のため、220V電源を設置する

エリア(室名)	特殊条件
B101 学生実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・物理系及び生物系の学生実験・演習に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・黒板、スクリーン
B102 学生実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・化学系実験に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置
B103 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B104 実験準備室・研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学科の学生実験・実習に必要な器具や機材の保管に使用する。専攻共通の研究室(短期滞在の研究者などの居室)と兼用する ・片開扉:2ヶ所設置
B105 学生控室	<ul style="list-style-type: none"> ・学部森林科学科学生の控室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・レイアウトは事業者の提案による
B106 製図室	<ul style="list-style-type: none"> ・造園設計実習の演習及び作業に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B107 化学実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験・実習に必要な薬品及び器具・機材の保管、関連する機器(製氷機)の設置に使用する ・製氷機用の給水と冷凍機のドレンを設置する ・片開扉:1ヶ所設置
B108 演習室・会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻内の各種会議及び打合せ、並びに講義、演習、特別講義などに使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B109 演習室・会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻内の各種会議及び打合せ、並びに講義、演習、特別講義などに使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B110 演習室・会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻内の各種会議及び打合せ、並びに講義、演習、特別講義などに使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B111 演習室・会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻内の各種会議及び打合せ、並びに講義、演習、特別講義などに使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B112 専攻事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室として使用する ・片開扉:2ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B201 書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の所蔵に使用する ・大量の書籍をおく為、床の補強が必要 ・親子開扉:1ヶ所設置
B202 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B204 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、実験準備、図書・機器類の保管、各種の作業に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置
B205 研究実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物実験、土壌分析、機器工作、学部生居室に使用する ・廊下側:親子開扉、1ヶ所設置 ・B206側に連絡用として片開扉、1ヶ所設置
B206 研究実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物実験、化学分析に使用する ・廊下側:親子開扉、1ヶ所設置 ・B206側:片開扉、1ヶ所設置
B207 研究実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・化学、生化学、分子生物学的実験並びに組織培養実験に使用する ・親子開扉:2ヶ所、片開扉:2ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B209 試料作製室及び細胞形態観察室	<ul style="list-style-type: none"> ・電子顕微鏡観察用の試料作製と、各種光学顕微鏡による植物形態観察に使用する ・親子開扉:1ヶ所
B210 電子顕微鏡室及び暗室	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木細胞の超微細構造を電子顕微鏡によって観察し、写真を現像、焼き付けを行うため使用する ・電子顕微鏡室及び暗室の入り口に赤色灯を設置する ・親子開扉:2ヶ所設置
B211-1 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B211-2 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B212 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B213 教官・院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B214 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B215 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B216 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B217 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B218 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B220 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
B221 研究室(1)	・標準プランとする
B222 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務員・院生居室、資料整理、簡易分析に使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
B223 研究室(3)	・標準プランとする
B224 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・助手・院生居室、資料整理、簡易分析に使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B225 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・画像解析等OA処理、学部生・院生居室、資料整理、簡易分析に使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B226 研究室(5) 学生・院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生・院生研究室に使用する ・片開扉:2ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B227 研究室(4) 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B228 研究室(3) 助手室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助手室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B229 研究室(2) 教官・院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官・院生研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に、片開扉:1ヶ所設置
B230 研究室(1) 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
B301 化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物試料の抽出・定性等の化学実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
B302 生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物試料の測定・乾燥に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B303 実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物材料の力学的特性・感性的特性に関する実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
B305 土壌実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌学的実験に使用する ・片開扉:1ヶ所設置、親子開扉:1ヶ所設置 蓋付き床排水口の設置
B306 試料調整保存室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌・植物体試料の前処理・調整・保存に利用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・移動式保管庫
B307 院生室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生の研究室に使用する ・片扉:1ヶ所設置
B308 恒温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌物理試験に使用する ・両開扉(W1.8×H2.4):1ヶ所設置 ・床に排水口を設置する ・ポンプ用に220V電源を設ける
B309a 院生室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生の研究室に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に、片開扉 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B309b 院生室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生の研究室に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に、片開扉 1ヶ所設置
B310 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として使用する ・親子開扉、片開扉 1ヶ所設置
B311 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授室として使用する ・親子開扉、片開扉 1ヶ所設置
B312 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官・院生室として使用する ・扉:親子開扉 1ヶ所設置
B313 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生室として使用する ・扉:親子開扉 1ヶ所設置
B314 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書・コピー室・事務室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B315 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助手室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
B316 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・講師室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
B317 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・事務室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
B318 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
B319 実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物材料の力学的特性、感性的特性に関する実験 ・片開扉及び親子開扉:各々1ヶ所設置
B320 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官・院生室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B321 研究室(3)	・標準プランとする
B322 研究室(2)	・標準プランとする
B323 研究室(1)	・標準プランとする
B324 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室、図書の保管に使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・連絡用として片開扉:1ヶ所設置
B325 研究室(3)	・標準プランとする
B326 研究室(4)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
B327 研究室(5)	・標準プランとする
B328 研究室(6)	・標準プランとする
B329 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・共通の教官研究室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・レイアウトは事業者の提案による
B400 研究室(4)	・標準プランとする
B401 研究室(3)	・標準プランとする
B402 生物材料化学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物材料(主に木材成分)に関する化学実験(ドラフトチャンパー設置)、有機合成実験、一般化学分析に使用する ・試薬棚にも、排気設備を設置(別途相談) ・中央実験台(3台)に卓上型フードを取付けたドラフトを設置(別途相談) ・実験装置用給排水:通常の蛇口増で対応可能。蒸留水作業装置のため ・親子開扉:2ヶ所設置 ・ドラフトの排気ファン仕様(別途相談) ・100V電源の位置など(別途相談)

エリア(室名)	特殊条件
B403 測定実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・試料の熱分析、分光測定、錯乱測定、顕微鏡観察等の精密機器測定を行い、物理化学的特性解析を行うため使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室(B404)への連絡用に、片開扉:1ヶ所設置
B404 化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・試料調製のための化学合成実験を行い、同定用試料の分光測定、クロマトグラム測定、熱流動測定等を行うため使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室(B403)への連絡用として片開扉:1ヶ所設置
B405 生物繊維学分野研究実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究実験の実施に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置
B406 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B407 事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B408 図書室兼セミナー室	<ul style="list-style-type: none"> ・移動書架(既設)を設置して、多数の図書を保管するとともにセミナー室としても使用する ・大量の図書を収容する為、床の補強が必要(移動書架) ・片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B409 生物材料化学研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・助手及び院生の居室として使用する ・扉:親子開扉2ヶ所設置 ・天井に配線ダクト1ヶ所設置
B410 生物材料化学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物材料(主に木材成分)に関する化学分析及び一般化学分析に使用する ・親子開扉:1ヶ所、B409との連絡扉(片開扉)設置 ・卓上フードの排気を屋外へ排気できるように、外壁に排気口を設ける
B411 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B412 測定実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・試料の熱的、光学的、粘弾性的、その他物性測定と機能評価に使用する ・扉:親子開扉 1ヶ所設置
B413 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B414 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・文献検索と図書保管、及び研究談話室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室(B413)への連絡用に、片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B415 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の熱分析、水分や酸・アルカリの滴定による定量、フィルムの濁度測定等のために使用する ・扉:片開扉 1ヶ所設置 ・天井に配線ダクト1ヶ所設置 ・B416側に連絡用として片開扉:1ヶ所設置
B416 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・機器測定室及び教官・院生研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室(B415)への連絡用に、片開扉:1ヶ所設置 ・天井に配線ダクト1ヶ所設置
B417 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・機器測定室及び院生研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・天井に配線ダクト1ヶ所設置
B418 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B419 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B420 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
B421 削除	削除
B421a 生物繊維学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、研究装置室として使用するが、簡易恒温高湿(常時ではない)としての使用もある ・開口形状不明
B421b 生物繊維学分野研究室 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・助手、院生室として使用する ・扉:親子開扉 2ヶ所設置
B422 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B423 -1 学生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生及び院生の研究室として使用する ・片開扉:2ヶ所設置
B423 -2 学生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生及び院生の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
B424 資料保存室	<ul style="list-style-type: none"> ・固定書架を設置して資料の保存と閲覧に使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・床補強を行う
B425 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
B426 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・共通の教官研究室として使用する ・レイアウトは事業者の提案による

【別表 2】 (C)

応用生命共通 応用生命科学共通 発酵生理及び醸造 学	植物栄養学	応用生命共通 生物調整化学 制御発酵学	エネルギー変換 生体高分子化学 細胞生化学	応用構造生物学
-------------------------------------	-------	-------------------------------	---------------------------------	---------

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
C001 応用生命科学共通実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育室: 昆虫の飼育、微生物の培養、植物の育成に使用する ・機器分析室: 機器分析実験に使用する ・機器分析室 質量分析器用の排気設備を設置する。排気は当該室より屋外ドライエリアに放出。 ・親子開扉: 4ヶ所、片開扉: 1ヶ所設置 ・前室(PSのある室)は一般空調条件、その他の部分は特殊空調条件である。
C002 ジャーファーマンター室	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャーファーマーター、大型オートクレーブ、培養装置等により微生物細胞等の培養・回収を行うため使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・防音処置を行う ・機器は、アンカーボルトによって固定する ・蒸気ボイラー(120kg/h)を設置する。ボイラーに給水、ガスを供給し、煙突を設ける。 ・排水ピットを設ける
C003 植物栄養学第5実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の栄養代謝に関する実験に使用する。 ・高圧ガス、アセチレン、亜酸素窒素、アルゴン、水素、窒素を使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置
C004 第2機器室	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機器分析・生体試料分離精製に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
C005 学生実験器具庫(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学科の学生実験用器具の保管に使用する ・片引戸(W1.25×H2.0): 1ヶ所設置。
C007 学生実験器具庫(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学科の学生実験用器具の保管に使用する ・片引き戸(W1.25×H2.0): 1ヶ所、親子開扉: 1ヶ所設置。

エリア(室名)	特殊条件
C009E 培養室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物を用いた実験・研究に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
C009W 培養室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・培養装置等により微生物細胞等の培養及び保存に使用する ・前室には、夏季における冷蔵庫の発熱対策と冬季におけるも機器保護のため、一般空調を設置する ・前室以外は、部屋全体を培養室とするため、特殊空調とする。なお、特殊空調室には複数台の空調設備を配置する等、バックアップ対策(故障時に全てがダウンしない)を施す。 ・親子開扉:2ヶ所設置 ・防音・断熱処置を行う ・機器はアンカーボルトによって固定する
C101 学生実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学科の学生実験に使用する ・片引戸:3ヶ所設置 ・床に蓋付き排水口を設置する ・(削除)
C102 学生実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学科の学生実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所、片引戸:1ヶ所設置 ・床に蓋付き排水口を設置する
C103 セミナー室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学専攻のセミナー及び会議に使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁:C105側の壁はスライディングウォール(防音型)とする
C104 専攻休憩室	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学専攻、食品生物科学専攻の更衣・休養・談話に使用する ・片開扉:2ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
C105 セミナー室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学専攻のセミナー及び会議に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・壁:C103号室側の壁はスライディングウォール(防音型)とする ・スクリーン
C106 学生控室	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学科の学生実験の控え室に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
C107 学生実験準備室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学科の学生実験に使用する試薬、消耗品、装置の保管、試薬の小分けに使用する ・ウォークインフードは薬品を使用し、ドラフトチャンバー同様の排気設備を設置する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・床:蓋付排水口 ・流し台:酸アルカリ中和処理
C108 専攻事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学専攻・食品生物科学専攻の事務室として使用する。 ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室連絡用に片開扉:1ヶ所設置。
C201 植物栄養学第1実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の栄養代謝に関する実験に使用する ・両開扉(W2.0×H2.0):1ヶ所設置。 ・隣室連絡用に片開扉:1ヶ所設置。 ・ガス設備については、各ドラフトチャンバー各1口でバーナー6本、実験台上でバーナー1個設置する ・東側のドラフトチャンバー2台は排気ダクト統一系統とし、風量制御を行う ・西側ドラフトチャンバーの排気は単独とする ・蒸留水製造装置を設置する
C202 植物栄養学研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教授の居室として使用する ・親子開扉:3ヶ所設置 ・隣室への連絡用として片開戸:各々1ヶ所ずつ設置する

エリア(室名)	特殊条件
C203 植物栄養学第2実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の栄養代謝に関する実験に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
C204 植物栄養学研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究事務室として使用する ・親子開扉:3ヶ所設置 ・隣室への連絡用として片開戸:各々1ヶ所づつ設置する
C205 植物栄養学第3実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・低温室で植物試料よりタンパク質の抽出、精製を行う(プレハブ式) ・前室:試料の調整、前処置を行う ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
C206 植物栄養学研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・助教授室として使用する ・親子開扉:3ヶ所、、片開扉:2ヶ所設置
C207 エネルギー変換細胞学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学、分子生物学実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
C208 植物栄養学第4実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の栄養代謝に関する実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
C209 応用構造生物学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学実験に使用する ・20φアスピレーター、蒸留水採取、ボイラ水排水のため実験装置給排水を設置する。 ・親子開扉:1ヶ所設置
C210 植物栄養学植物培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・培養室:植物の栄養代謝に関する実験に使用する ・保管庫(部屋の奥側):土壌の保管に使用する ・植物細胞を培養するため、外部から光が入らない方が望ましい ・培養室:植物培養のために温度環境を守る ・保管庫:空調不要 ・親子開扉:1ヶ所、片引扉:1ヶ所設置
C212 植物培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物細胞の移植並びに培養を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
C214 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
C216 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
C301 生物調節化学第1実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化学実験に使用する ・アスピレーター、冷却水用に実験装置給排水を設置する ・親子開扉:2ヶ所、片引戸:1ヶ所設置。

エリア(室名)	特殊条件
C302 生物調節化学第2実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学、分子生物学実験に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置
C303 生物調節化学第3実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・天然物の抽出及び合成実験 ・一般実験廃液用に実験排水を設置する ・親子開扉: 1ヶ所設置
C304 生物調節化学	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする(3ブロックの用途は以下のとおり) ・助教授の居室として使用する ・事務室として使用する ・教授の居室として使用する ・各廊下側に親子開扉: 各々1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置
C305 生体高分子化学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・両開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置
C306 生体高分子化学実験室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・両開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置
C307 生体高分子化学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として使用する ・両開扉: 1ヶ所設置 ・C309への連絡通路に3方枠: W0.85×H2.0、1ヶ所設置 ・C305への連絡通路に片開扉、1ヶ所設置。 ・重量物: 大型機器の搬出入多少有り ・天井: 直天井 ・両開扉: 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
C308 生体高分子化学実験室 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究実験室として使用する ・暗室を設ける ・プレハブ低温ユニット(大学設置の備品)内のみ4℃で設定する ・低温ユニット以外のスペースは、一般空調設備で対応する ・ステンレス製流し台は、低温ユニット外のスペース及び暗室内に設置。実験器具洗浄及びフィルムの現象洗浄のために使用する ・ガス設備は、クリーンベンチにて実験用ガスバーナーのために使用する ・暗室は1.5×1.5×H2.6程度とする ・両開扉: 1ヶ所、C306への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置 ・機器による発熱に考慮する。
C309 生体高分子化学実験室 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として使用する ・両開扉: 1ヶ所設置 ・C307への連絡用に3方枠(W0.85×H2.0): 1ヶ所設置。
C310 生体高分子化学実験室 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究・実験室として使用する ・両開扉: 1ヶ所設置 ・C312への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置。 ・機器による発熱に考慮する。
C312 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・片開扉: 1ヶ所、C310、C314への連絡用に片開扉: 各1ヶ所設置。
C314 生体高分子化学実験室 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究実験室に使用する ・両開扉: 1ヶ所設置 ・C312への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置。
G401E 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物を用いた実験・研究に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室(C401W及びC403W)への連絡用に3方枠: W0.85×H2.0各々1ヶ所ずつ設置

エリア(室名)	特殊条件
C401W 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物を用いた実験・研究に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室(C401E)への連絡用に3方枠: W0.85×H2.01ヶ所設置
C402 低温室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物を用いた実験・研究、特に低温条件を要するものに使用する ・廊下より低温室へ物品の搬入のため、廊下と低温室の間に搬入口(W2.0×H2.2)を1ヶ所設ける ・片開扉: 1ヶ所設置
C403E 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物を用いた実験・研究に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室(C403W)への連絡用に3方枠: W0.85×H2.01ヶ所設置
C403W 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物を用いた実験・研究に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室(C401E及びC403E)への連絡用に3方枠: W0.85×H2.0各々1ヶ所ずつ設置
C404 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・居室として使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室(C406)への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置。
C405 制御発酵学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片引戸(W0.85×H2.0): 1ヶ所設置。

エリア(室名)	特殊条件
C406 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・教授室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・C404への連絡用に片開扉:1ヶ所設置。
C407 制御発酵学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・C405、C409への連絡用に片引戸:2ヶ所設置。
C408 制御発酵学培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の培養に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・ダイノミル(細胞粉碎装置)のため実験装置給排水を設置する ・防音仕様とする
C409 制御発酵学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・c407への連絡用に片引戸:1ヶ所設置。
C410 制御発酵学研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官・院生研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・C412への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
C412 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
C501 C501 A (1) C501 B	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学、分子生物学実験及び教官・学生居室に使用する ・ドラフトチャンバーに給排水設備を設置する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・C501Bの中央に長さ5mの壁を設ける
C502 動物細胞培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・動物培養細胞を用いた実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所、片開扉:1ヶ所設置。
C503 C503 A 細胞生化学分野実験室(2) C503 B	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学の実験及び教官・学生居室に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・C503Aの中央に長さ3.7mの壁を設ける
C504A P2動物細胞クリーンルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・動物培養細胞を用いたP2レベルの組換えDNA実験に使用する ・特殊空調設備として、クリーンルーム(クラス100,000)を確保する ・安全キャビネット(昭和化学SG2A-1300V-S)の排気設備を設置する。排気は当該室より屋外へ放出する。 ・親子開扉:1ヶ所設置 ・一般実験用排水のため実験排水を設置
C504B 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
C506A 細胞生化学研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・秘書室及びコンピュータールームとして使用する ・親子開扉:1ヶ所 ・隣室への連絡用として、親子開扉:1ヶ所、片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
C506B 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・助教授の居室及び機器室として使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用として、親子開扉: 1ヶ所設置
C508 専攻会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻長の居室及び専攻の会議に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置 ・ホワイトボード
C510 機器室	<ul style="list-style-type: none"> ・機器を設置する ・特殊空調として高性能の顕微鏡を使用するためクリーンルーム(レベル100,000)を確保する ・親子開扉: 1ヶ所設置
C512 制御発酵学機器室	<ul style="list-style-type: none"> ・分析機器、超遠心機、その他の機器を設置する ・親子開扉: 1ヶ所設置
C514 制御発酵学顕微鏡室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物・培養細胞を蛍光顕微鏡によって連続観察する ・親子開扉: 1ヶ所設置

【別表 2】 (D)

応用生物共通	植物遺伝学	植物病理学	海洋生物生産利用学	
海洋生物増殖学	海洋生物機能学	昆虫生態学	海洋分子微生物学	海洋生物環境学
海洋生物環境学	畜産資源学	海洋環境微生物学	生殖生物学	動物栄養科学
動物遺伝育種学	生体機能学			

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
D001 応用生物科学専攻 第1学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験に利用する ・親子開扉:1ヶ所、D002への連絡用に片開扉1ヶ所設置 ・ガス設備:各実験台に2ヶ所 ・床に簡易床ドレン設置 ・黒板抜け
D002 応用生物科学専攻 学生実験準備室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験に利用する ・片開扉:1ヶ所、D001とD003への連絡用に片開扉:各1ヶ所設置
D003 応用生物科学専攻 第2学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験に利用する ・ガスバーナー使用(各実験台に2台) ・親子開扉:1ヶ所、片開扉:1ヶ所設置 ・D002への連絡用に、片開扉:1ヶ所設置 ・床に簡易床ドレイン設置
D004 海洋生物生産利用学 実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子開扉:1ヶ所設置 ・画棧:戸境壁に設置(H=2.0) ・暗室:暗幕カーテンで仕切る程度 ・機器による発熱に考慮する ・壁コンセントは床から2.3mの位置に設ける ・精密機器を使用するので、粉塵流入防止のため、室内の床のレベルを廊下の床レベルより10cm高くする。 ・上記の理由により、扉のガラリは、上部に設置する。 ・遺伝子組み換え生物を含む試料の観察をおこなうので、P1レベルとする。 ・(削除) ・一部を暗室として使用する
D005 海洋生物生産利用学 実験室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学、分子生物学等の実験に利用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・画棧:戸境壁に設置(H=2.0) ・壁コンセントは床から2.3mの位置に設ける ・精密機械を使用するので、粉塵流入防止のため、室内の床のレベルを廊下の床レベルより10cm高くする。
D006 電気生理学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・電気生理学実験に使用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・清浄度確保のため、エアコンに高性能フィルターを設置する。 ・防振台に対して空調の向きを配慮する

エリア(室名)	特殊条件
D007 海洋生物増殖学標本室	<ul style="list-style-type: none"> ・標本のソーティング、査定、保管等に利用する ・親子扉:1ヶ所設置
D008 イメージングNMR実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類の生理機能を解明するためのin vivo構造生物学的基盤研究に利用する ・扉:W=1.25×H=2.0×2ヶ所(親子開扉) ・実験動物糞尿実験器具洗浄水排水のため実験排水を設置 ・磁場強度が約10テスラのワイドボア型超伝導磁石を設置するので磁場もれを防ぐ処置が必要である ・超伝導磁石の冷却用の液体ヘリウムの回収のための配管系が必要である。
D009 恒温室	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡観察用サンプルを作成するために利用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・前室、暗室間に片開扉:1ヶ所設置 ・前室、恒温室間に親子開扉:1ヶ所設置 ・顕微鏡観察用サンプルを作成する恒温室として使用するため、前室(8㎡)を設置し、恒温高湿状態を保つための特殊設備を設置する。 ・前室にもエアコンを設置する。
D010 AV小会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・AV機器、液晶プロジェクター、大型スクリーンを常設し小会議室として利用する ・片開き扉:1ヶ所設置
D011 低温室	<ul style="list-style-type: none"> ・種子の保存・貯蔵に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・低温室入口に片開き扉 1ヶ所設置 ・前室は空調不要とする。
D012 植物病理学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・植物病理学分野で実施する研究に用いる各種植物を育成する部屋として利用する ・流し台で実験器具を洗浄する際、若干の土壌が排水されることが予想されるため、流し台の下部の排水受は、万が一に備え、排水詰まりを清掃除去し易い構造(ドラムトラップ)とする ・1日あたり16時間の明期と8時間の暗期を厳密に制御するため、暗幕などによって建物外部の光が育成室内に入らないようにする

エリア(室名)	特殊条件
D013 会議室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の会議及びセミナーに使用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・映写スクリーン&遮光カーテン
D014 海洋系 暗室	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・X線フィルムの現像及び蛍光顕微鏡による観察に利用する ・全室入り口に片開扉:1ヶ所、暗室入口に片開扉:1ヶ所設置 ・画棧:全ての壁に設置(H=2.0)
D015 水生生物飼育室	<ul style="list-style-type: none"> ・扉:2.0×H=2.0×1ヶ所(両開き) ・画棧:戸境壁に設置(H=2.0) ・遺伝子組み換え生物を含む生物の飼育を行う(P1レベル) ・地下水が必要(10ℓ/分前後) 水棲生物の飼育に上水道水(塩素等の物質を含む水)は悪影響を及ぼすため、使用出来ない。井戸水の使用が不可欠であり、これまでも地下水を使用してきた。 ・床に排水口設置
D016 -1 書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌・資料の保管に利用する ・扉:W=1.25×H=2.0×1ヶ所(親子開扉) ・床補強を行う
D016 -2 低温室	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の低温生物学実験やタンパク質の分離・精製実験に利用する ・扉:W=1.25×H=2.0×1ヶ所(親子開扉)
D101 応用動物系精密実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・精密実験に利用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・暗幕 ・冷却設備(備品)用の外壁スリーブを設置する。

エリア(室名)	特殊条件
D102 -1 書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の書籍・雑誌類の保管に利用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・床補強を行う
D102 -2 雑誌閲覧室	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の書籍・雑誌類の保管に利用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・床補強を行う ・ホワイトボード
D103 昆虫飼育室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験用昆虫を異なる様々な恒温明暗条件で飼育維持するとともに、実験を行う。 ・片開扉:1ヶ所、親子開扉:1ヶ所設置 ・恒温室の電源制御タイマーを50Aブレーカにつなぐ
D103 -1 恒温室1	<ul style="list-style-type: none"> ・研究用の小型節足動物類(チョウ目、バッタ目、カメムシ目、ハチ目、クモ類)の飼育と生活史、行動生態系等の研究を行う ・片開扉:1ヶ所設置 ・飼育用棚の電源は、タイマーと連動して使用する ・メンテナンス用コンセントはタイマーから独立させる
D103 -2 恒温室2	<ul style="list-style-type: none"> ・研究用の小型節足動物類(チョウ目、バッタ目、カメムシ目、ハチ目、クモ類)の飼育と生活史、行動生態系等の研究を行う ・片開扉:1ヶ所設置 ・飼育用棚の電源は、タイマーと連動して使用する ・メンテナンス用コンセントはタイマーから独立させる
D103 -3 恒温室3	<ul style="list-style-type: none"> ・研究用の小型節足動物類(チョウ目、バッタ目、カメムシ目、ハチ目、クモ類)の飼育と生活史、行動生態系等の研究を行う ・片開扉:1ヶ所設置 ・飼育用棚の電源は、タイマーと連動して使用する ・メンテナンス用コンセントはタイマーから独立させる

エリア(室名)	特殊条件
D103 -4 恒温室4	<ul style="list-style-type: none"> ・研究用の小型節足動物類(チョウ目、バッタ目、カメムシ目、ハチ目、クモ類)の飼育と生活史、行動生態系等の研究を行う ・片開扉:1ヶ所設置 ・飼育用棚の電源は、タイマーと連動して使用する ・メンテナンス用コンセントはタイマーから独立させる
D103 -5 恒温室5	<ul style="list-style-type: none"> ・研究用の小型節足動物類(チョウ目、バッタ目、カメムシ目、ハチ目、クモ類)の飼育と生活史、行動生態系等の研究を行う ・片開扉:1ヶ所設置 ・飼育用棚の電源は、タイマーと連動して使用する ・メンテナンス用コンセントはタイマーから独立させる
D104 応用生物化学専攻 第3学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
D105 会議室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の会議及びセミナーに使用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・映写スクリーン&遮光カーテン
D106 細胞培養実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞培養実験に使用する ・P2レベル必要 ・特殊空調設備において、清浄度確保のため、エアコンに高性能フィルターを設置する ・親子開扉 1ヶ所設置
D107 実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫飼育室と連動させて実験の準備等に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
D108 教官控室	・標準プランとする
D109 学生自習室 応用生物学専攻学生実習室	・学部学生の自習に使用する ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置 ・黒板設置
D110 専攻事務室	・標準プランとする
D111 コピー室	・応用生物学専攻でコピーや資料作成に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置
D112 教官室	・標準プランとする
D113 教官控室	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
D114 会議室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の会議及びセミナーに使用 ・親子開扉:2ヶ所設置
D115 会議室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の会議及びセミナーに使用 ・親子開扉:1ヶ所設置
D201 実験動物飼育室	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類の生理機能の基盤研究と応用展開研究を行うための実験動物の飼育 ・親子開扉:2ヶ所設置 ・臭気の拡散を防ぐために、動物飼育室前室は陰圧に保つこと ・実験動物を飼育するので、常に15%換気しながら恒温・恒湿が保てる空調設備を必要とする ・定期的に床を水洗いし、かつ消毒をするので、確実な防水処置を施した床仕上げとする ・前室は一般空調、その他は特殊空調とする。
D202 院生室 D203	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生が主に居室として利用する ・親子開扉:2ヶ所設置
D204 実験室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・主に飼料やその他生物試料の乾燥、粉碎などの前処理および一般的成分分析実験を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
D205 資料室	<ul style="list-style-type: none"> ・現場調査資料、調査機器、実験器具の整理を行う。 ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
D206 資料室	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋観測資料、生物サンプルの整理・保管 ・親子開扉:1ヶ所設置 ・東西の壁に画棧設置(H=2.0)
D207 計算機室	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを用いたデータ解析や数値解析等を行う ・親子開扉:1ヶ所設置 ・照明器具に関しては、VDT作業に適したV2クラスとする
D208 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授の居室 ・片開扉:2ヶ所設置
D209 事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・事務員の居室及び調査機器類の保管場所 ・片開扉:2ヶ所設置・扉:W=0.85×H=2.0×2ヶ所(片開き)
D210 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授の居室 ・片開扉:1ヶ所設置
D211 助手室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助手の居室 ・片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
D212 実験室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験に利用する ・DNA解析実験、ビタミン、アルカン、樹脂酸などの微量物質のウロマトグラフィー分析実験などを行う ・親子開扉:1ヶ所設置
D213 機器分析室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・HPLCやGCなどの精密分析機器を設置する ・電気マッフル炉を設置する
D301 生殖生物学第1実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として利用。主に細胞培養や初期胚の培養を行う。細胞培養のための区切られた部屋が必要である。 ・外部から動物を持ち込むために、前室が必要である。 ・前室には、空調不要、換気必要。細胞培養室は年間を通して27℃前後を維持する。 ・培養室には高性能フィルターを設置し、換気は単独給排とする。 ・親子開扉:2ヶ所、片開扉:2ヶ所設置
D302 生殖生物学第2実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として利用。主に、器具等の洗浄、滅菌を行うとともに、大型機器(遠心機、大型冷凍庫)の設置を行う。 ・蛍光顕微鏡、トランスイルミネーターの使用のため暗室を設置する。 ・実験機材及び消耗品の保管を行う部屋が必要 ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:4ヶ所設置 ・保管室には、空調不要、換気必要。実験室、暗室には、空調・換気必要。
D303 生殖生物学第3実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として利用 ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:2ヶ所設置
D304 生殖生物学第4実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として使用。主に、データ解析実験を行う ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
D305 動物栄養科学機器室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・機器分析を行う ・排気(600m³/h)のため屋外に排気フードを設置(空調能力排気量を考慮のこと) ・原子吸光機からの排熱を除去するため排気フード、排気設備を設置し、排気は当該室より屋外へ放出する ・空調設備は単独系統とし、空調機選定については排気量(600m³/h)を考慮のこと
D306 動物栄養科学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養成分の分析を行う ・親子開扉:2ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置
D307 動物栄養科学 分子生物学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・動物細胞及び動物組織機能の分子生物学的解析を行う ・親子開扉1ヶ所設置
D308 機器分析室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的に分析のための装置を設置する ・親子開扉1ヶ所設置
D309 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・教室・院生研究室として使用する ・片開扉:2ヶ所設置
D310 研究実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験を行う ・親子開扉:1ヶ所、片引扉:1ヶ所設置 ・311室との界壁は、スチールパーテーションとする

エリア(室名)	特殊条件
D311 研究実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験を行う ・親子開扉:1ヶ所、片引扉:1ヶ所設置 ・310室との界壁は、スチールパーテーションとする
D312-1 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生研究室として利用する ・親子開扉:1ヶ所、片引扉:1ヶ所設置 ・スチールパーテーションで区画する
D312-2 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫として利用する ・片引扉:1ヶ所設置
D313 技官室	<ul style="list-style-type: none"> ・動物飼育の担当者の控え室として利用 ・共同利用室の使用にシャワールームを設置する ・片開扉 1ヶ所設置
D314 実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物試料の乾燥、粉碎など分析前処理を行う ・乾燥機等、発熱量の大きい実験器具が多い ・片開き扉 1ヶ所設置
D315 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
D316 事務室	・標準プランとする
D317 教授室	・標準プランとする
D318 助教授室	・標準プランとする
D319 研究室	・標準プランとする
D320 教授室	・標準プランとする
D321 生殖生物第5実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として利用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
D322 生殖生物学第6実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験室として利用する ・親子開扉 1ヶ所設置
D323 動物栄養科学院生室	<ul style="list-style-type: none"> ・親子開扉 1ヶ所設置
D324 動物栄養科学機器室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・機器分析を行う ・親子開扉 1ヶ所設置 ・ICP-MS装置からの排気(210L/Sec)を当該室より屋外へ放出するための排気設備を設置 ・空調設備は単独系統とし、空調機選定については排気量を考慮のこと
D325 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D326 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D327 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
D328 動物栄養科学培養実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・動物細胞の培養を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
D329 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D330 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D331 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D332 培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞培養を行うために各種の恒温培養装置を設置し利用する ・親子開扉 1ヶ所設置
D333 学生室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が勉強、データ処理、論文執筆のために利用する ・親子開扉 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
D334 学生室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が勉強、データ処理、論文執筆のために利用する ・親子開扉 1ヶ所設置
D401 生理学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類の生理機能の基盤研究に利用する ・親子開扉:1ヶ所設置
D402 分子形態学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類の生理機能の分子形態学的研究に利用する ・親子開扉:2ヶ所設置
D403 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子開扉 2ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0)
D404 -1 海洋生物環境実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋生物・海水等の分析及び海洋観測機器の準備・保管に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0) ・流しの近くのコンセントは防水(南側2ヶ所)
D404 -2 海洋生物環境実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋生物・海水等の分析及び海洋観測機器の準備・保管に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0) ・流しの近くのコンセントは防水(南側2ヶ所)

エリア(室名)	特殊条件
D405 実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋分子微生物学分野における主要な実験スペースである。(P1実験を行う) ・主に真正細菌や古細菌およびそれらに由来する遺伝子やタンパク質などを取り扱う
D406 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・主に海洋分子微生物学分野に所属する特別研究員、大学院生、研究生、および研修員の研究室として用いる
D407 微生物保存室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物試料およびたんぱく質や核酸試料などを保存する ・上記の目的のため、超低温冷凍庫、液体窒素タンク、冷凍冷蔵庫などを設置する
D408 滅菌室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物、実験器具および培地の滅菌を行う ・実験によって生じたバイオハザードの滅菌・無害化を行う ・上記の目的に必要な機器(オートクレーブや乾熱滅菌器など)を設置する ・超音波洗浄機を設置する
D409 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D410 事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
D411 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D412 細胞学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類の細胞機能の基盤研究に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・安定した生理学実験を実施するために熱容量の大きい空調設備を設置する
D413-1 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D413-2 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D413-3 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D414 組織学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類の生理機能の組織学的研究に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・安定した生理学実験を実施するために熱容量の大きい空調設備を設置する ・簡易ホルマリンフードの排気を屋外へ排気できるように、外壁に排気口を設ける

エリア(室名)	特殊条件
D415 -1 教官研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D415 -2 教官研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教授および事務補佐員室に使用する ・片開扉:2ヶ所設置 ・東西の壁に画棧設置(H=2.0) ・標準仕様の教官室・共同利用室に準じるが、間仕切り壁は設置しない
D416 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室に利用する ・親子開扉 2ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0)
D417 機器分析室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・フローサイトメーターやDNAシーケンサーなどの高度・精密な解析機器を設置する ・水平で安定した土台が必要な大型精密機器が設置される可能性がある ・室内清浄度をあげるため高性能フィルタを設ける。
D418 実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・主に植物プランクトンなどの真核生物の遺伝子実験等を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
D419 微生物培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・細菌や植物プランクトンなどの微生物を培養する ・温度域の異なる(5℃、15℃、20℃)、3つのプレハブ恒温室を設置する ・両開扉:1ヶ所設置 ・片開扉:1ヶ所設置 ・前室は一般空調とし、その他は特殊空調とする ・前室、特殊空調室3室全てに室内清浄度をあげるための高性能フィルタを設ける。

エリア(室名)	特殊条件
D501 海洋生物生産利用学 実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学、化学的実験を行う ・親子開扉:2ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0)
D502 海洋生物生産利用学 精密分析室	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機器類を用いて海洋生物の微量成分を分析するために利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・高度に精密な機器を多種利用するための空調を行う ・壁に画棧設置(H=2.0) ・GCMS装置用の排気設備を設置し、当該室より屋外へ放出する。
D503 海洋生物生産利用学 低温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・4℃に管理された部屋で生理活性物質酵素タンパク質などの分離・解析を行うために利用する ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置 ・低温で実験するので、機器類の保全のため低湿が望まれる
D504 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D505 遺伝子組換え実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組み換えを伴う分子生物学・生化学実験に利用する ・P2レベルとする ・東西2系統で空調を行う ・清浄度確保のため、エアコンに高性能フィルターを設置する ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置
D506 -1 海洋生物増殖学第1実験 室	<ul style="list-style-type: none"> ・組織切片作成・顕微鏡室として使用する

エリア(室名)	特殊条件
D506 -2 海洋生物増殖学第2実験室	・生理学実験室として使用する
D506 -3 海洋生物増殖学第3実験室	・DNA等実験室として使用する
D507 -1 海洋生物増殖学助教授室	・助教授室として使用する
D507 -2 海洋生物増殖学院生・助手室	・院生・助手室として使用する
D508 教官・院生研究室	・教官及び院生の研究室として利用する ・片開扉:2ヶ所設置
D509 第2微生物培養室	・藻類、細菌等の培養保存や培養実験を行うため利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・前室は一般空調が必要

エリア(室名)	特殊条件
D510 助教授室	・標準プランとする
D511 -1 事務室	・標準プランとする
D511 -2 教授室	・標準プランとする
D512 研究室(1)	・標準プランとする
D513 研究室(3)	・教官・院生研究室に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置
D514 研究室(3)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
D515 海洋生物生産利用学 実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子改変生物を用いた分子生物学的実験に利用する ・P2レベルとする ・親子開扉 1ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0)
D516 海洋生物生産利用学 細胞培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞培養とRNAを扱う実験に利用する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・壁に画棧設置(H=2.0)
D517 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官・院生室に利用する ・親子開扉:2ヶ所及び片開き扉:1ヶ所設置 ・パソコン20台、周辺機器(プリンターやスキャナー等)を設置する予定
D518 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D519 -1 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
D519 -2 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
D520 第1微生物培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・藻類、細菌等の培養保存や培養実験を行うため利用する ・20℃に温度を設定したプレハブ恒温室を設置する ・室内のカビ孢子対策のため、室内空気清浄度を保つフィルターを設置する ・親子開扉 1ヶ所設置 ・前室は一般空調が必要
D521 第1実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋環境微生物学実験を行うため利用する (海水中の栄養塩類クロロフィルの測定、微細藻類や細菌類、海藻の培養実験を行う) ・親子開扉 1ヶ所設置
D522 第2実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋環境微生物学実験を行うため利用する (海水中の細菌、微細藻の計測、貝毒等の微量物質や底沼中の藻類休眠細胞の研究。微細藻、細菌の培養実験を行う) ・暗室と実験室は、空調・換気設備とも各々運転可能とする ・親子開扉:1ヶ所及び片引戸設置

【別表 2】 (E)

フィールドロボティクス		農業システム工学	農産加工学	施設機能工学
水環境工学	農業システム工学	水資源利用工学	専攻共通	地域環境科学共通
農産加工学	微生物環境制御学	比較農業論	農村計画学	森林生態学
森林生化学	森林生態学	森林水文学	土壌学	生態情報解析学
熱帯農業生態学				

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
E001 生物測定分析室	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の物性又は、化学成分の測定分析を行う。 ・両開扉:1ヶ所設置(h2000,W1600)
E002 農業システム工学研究実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物成長実験ならびにバイオマス・エネルギーに関する基礎実験。 ・親子扉 1ヶ所設置
E003 電顕室	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物果肉細胞を電子顕微鏡によって観察する。 ・E004への連結通路を設置(片開き 1ヶ所) ・両開扉:1ヶ所設置
E004 低温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物資料の貯蔵及び貯蔵実験。 ・E003への連結通路を設置(片開き 1ヶ所) ・両開扉 :1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・前室と低温室の壁には断熱扉を設置 ・低温室内は農産物の呼吸活動により炭酸ガスが充満し、作業者が窒息する恐れがあるため換気を行う。 ・低温室の内部サイズは3300×4000×H2500(内寸)を確保すること
E005 恒温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤材料の物性計測 ・特殊配管:実験のため、外部からエアコンプレッサから配管のためのスリーブが必要。 ・扉:W=1.5×H=2.0×1ヶ所:エアータイト仕様(親子開き) ・計測時の温度膨張、含水比変化の影響を除くため、温度・湿度条件は下記の値を目標とする。 (温度:20°C±2°C 湿度:50°C±10%)
E006 構造実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤挙動、材料挙動の解明のための構造模型実験を行う部屋。 ・水を利用する実験のため、屋上コンクリートたたきに、水栓設置(20A1個) ・特殊配管:大型電気機器のための配電盤。 ・特殊配管:E005室屋外からの空気圧導入のためのスリーブ必要 ・扉:W=3.0×H=2.0×2ヶ所及び、片開扉:1ヶ所設置 ・1tクレーン及び走行レールを設置する

エリア(室名)	特殊条件
E007 材料実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土木材料の特性を試験する ・水を利用する実験のため、屋外コンクリートたたきに水栓設置(20A1個) ・特殊配管:大型電気機器のための配電盤 ・扉:W=2.0×H=2.0×2ヶ所及び、片開扉:1ヶ所設置 ・1tクレーン及び走行レールを設置する
E008 土壌物理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・軟X線非破壊検査装置による土壌物理構造の撮影 ・土壌の水分特製・物質移動特製等の土壌物理・化学・生物に関する試験の実施のため恒温条件が必要 ・ステンレス流し台:実験器具に付着した土壌を洗い流す ・実験排水:土壌流出水 ・親子扉:1ヶ所 ・流しの蛇口の数は2ヶ所
E009 倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻共通倉庫として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・除湿器(備品)用のドレン配管を設置する
E010 倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能工学の物品倉庫として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・除湿器(備品)用のドレン配管を設置する
E011 生物生産工学地下実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物生産機械の実験を行う ・両開扉 1ヶ所設置 ・排水溝設置
E012 生物生産工学地下実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物試料の貯蔵及び加工実験を行う。 ・両開扉:1ヶ所設置 ・E013と部屋は繋がっている。

エリア(室名)	特殊条件
E013 生物生産工学地下実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物試料の貯蔵及び加工実験を行う。 ・両開扉:1ヶ所設置 ・E012と部屋は繋がっている。
E014 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・水質分析に使用する。 ・両開き扉 1ヶ所設置
E015 第一共同研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・客員、教員、産学官連携研究員、ポスドク研究員等の研究室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所設置
E016 REIPS画像処理室	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークステーションシステムにより各種画像処理を行う。 ・片開扉:1ヶ所設置
E017 土壌物理学学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌物理学、水環境工学実験を行う。 ・30～40人程度の学生実験を行う。 ・土壌物理実験ではある程度の恒温状態が必要な場合が多い。 ・親子扉:1ヶ所設置
E101 電子顕微鏡室	<ul style="list-style-type: none"> ・農学研究科共通の電子顕微鏡室として、凍結試料作製装置、凍結超薄切片作製装置、透過型電子顕微鏡を設置し、様々な試料の超微細構造観察を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・電子顕微鏡使用中を示す赤色灯を廊下側入口に設ける ・装置冷却用の冷却水循環装置を設置

エリア(室名)	特殊条件
E102 院生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する。 ・片開き扉 1ヶ所設置 ・隣室との間に片開き 1ヶ所設置 ・パーテーションの仕様は、設置型タイプとする。
E103 ワークステーション室	<ul style="list-style-type: none"> ・計算機室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所設置 ・隣室との間に片開き 2ヶ所設置 ・OAフロアの段差は、室内側に設ける。
E104 学生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生演習室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所設置 ・隣室との間に片開き 1ヶ所設置
E105 大学院生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生室として使用する。 ・片開扉 1ヶ所設置
E106 学生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の演習室として利用。 ・片開扉 1ヶ所設置
E107 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・助手室として使用する。 ・片開扉 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E108 講義室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の授業・ゼミ等に利用する。(白板、スクリーン、OA機器、キャビネット、机、椅子、教壇等は一般に準じる) ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 1ヶ所設置 ・洗面化粧台水栓は ゲースネック形状とする。
E109 講義室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の授業・ゼミ等に利用する。(白板、スクリーン、OA機器、キャビネット、机、椅子、教壇等は一般に準じる) ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 2ヶ所設置 ・洗面化粧台水栓は ゲースネック形状とする。
E110 セミナー室	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ室として利用する。 ・親子扉 2ヶ所設置
E111 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E112 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E113 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E114 研究室(2)	・標準プランとする
E115 研究室(1)	・標準プランとする
E116 資料室	<ul style="list-style-type: none"> ・資料室として利用する。 ・片開扉 1ヶ所設置
E117 研究室(2)	・標準プランとする
E118 研究室(3)	・標準プランとする
E119 研究室(4)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E120 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の会議並びに学生の授業、ゼミに使用する。 ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 1ヶ所設置
E121 地域環境科学専攻コピー室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境科学専攻の事務室及び、分野共通のコピー室、専攻事務室の書類の保管庫置き場としても使用する。 ・出入口:片開戸 2ヶ所(うち1ヶ所は地域環境科学専攻事務室間)
E122 地域環境科学専攻事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境科学専攻の事務をつかさどる。 ・出入口:親子扉 1ヶ所、片開扉 1ヶ所(E121コピー室間) ・白板を壁に設置。
E123 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻関係の会議及び学生のゼミ等に使用する。 ・出入口:片開扉 1ヶ所
E124 学生控室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境工学科3回生控室として使用する。 ・出入口:親子扉 1ヶ所 ・水栓はゲースネック仕様とする。 ・洗面台:・水栓はゲースネック形状とする。
E125 生物環境実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験を行う。 ・出入口:親子扉 1ヶ所、片開扉 1ヶ所 ・ブンゼンバーナー8個を使用する。

エリア(室名)	特殊条件
E201 計算機室	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータールームとして利用する。 ・出入口:親子扉 1ヶ所、片開扉 1ヶ所(E202室間) ・壁面(天井より350程度下部)に長押材取付(W=100) ・流し台は、画像処理用農産物試料の洗浄。
E202 学生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の居室 兼 一般実験室として利用する。 ・東西壁面上部(天井から350mm程度下の位置)に長押様の板材(100mm幅)を設ける。 ・両開扉:1ヶ所、片開き扉:2ヶ所
E203 学生研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学部生、院生研究室として利用する。 ・片開き扉:1ヶ所
E204 研究実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の準備、実験、及び実験機材の保管に使用する。 ・棧木取付(L=6.0 H=2.2 本棚固定用) ・両開き扉:1ヶ所
E205 学生研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生、4回生の研究室。研究室所有雑誌の書庫 ・洗面台:水栓はグースネック仕様 ・出入口:親子扉 1ヶ所 片開扉 1ヶ所 ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。 ・洗面台:水栓はグースネック形状とする。
E206 学生研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室と書庫として利用する。 ・棧木取付(L=6m,H=2.2m 2ヶ所 本棚固定用) ・出入口:片開戸 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E207 学生研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生、4回生の研究室 ・親子扉2ヶ所設置 ・洗面台:水栓はグースネックを使用する。 ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。 ・洗面台:水栓はグースネック形状とする。
E208 微生物・植物培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に制御された生物環境調整装置の中で、生育条件の異なる各種微生物や植物の培養・制御実験を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
E209 微生物分子レベル実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物やその寄主植物を用いた分子生物学的な実験を行う ・扉:親子開扉:2ヶ所設置 ・床:防水処理。
E210 微生物生理生態レベル実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に制御された生物環境調整装置の中で、生育条件の異なる各種微生物や植物の培養・制御実験を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
E211 野外試料処理室	<ul style="list-style-type: none"> ・野外から採取した土壌、植物などの材料から微生物を分離、培養し、実験に用いるためのト処理、野外試料の乾燥、裁断等の処理を行う
E212 分野事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・分野の事務室、談話室として利用する。 ・ステンレス製流し台 ・出入口:片開扉2ヶ所 ・長押板材(W=100) L=4000 2ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E213 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・長押板材(W=100)2ヶ所
E214 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・長押板材(W=100)2ヶ所
E215 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官、院生研究室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・長押板材(W=100)2ヶ所
E216 分野事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・事務室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・床:耐荷重1200kg/m²
E217 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所
E218 教員研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助手室として利用する。 ・片開扉 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E219 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所
E221 分野事務室・教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・洗面台:水栓はグースネック仕様とする。
E222 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・農業システム工学分野教授室 ・片開扉 2ヶ所
E223 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官室として利用する。 ・片開扉 1ヶ所 ・洗面台:水栓はグースネック仕様とする。
E224 客員教授室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E225 客員教授室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E226 客員教授室(3)	・標準プランとする
E227 客員教授室(4)	・標準プランとする
E228 コンピューター援用物理系演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共用のコンピュータ演習室として利用する。 ・扉: H2.0×W1600以上 両開き: 1ヶ所 ・天吊プロジェクター(電動スクリーン含) ・東側窓: 遮光・黒板設置のため塞ぐ ・南側に窓を設ける
E229 微生物観察室	・各種顕微鏡を用いて微生物と植物の相互関係などを観察、撮影、記録する
E230 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の居室と研究室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所
E231 共同利用室 (事務室兼院生研究室)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生の居室、研究室として利用すると同時に事務室として使用する。 ・両開き扉 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E301 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する。 書籍を保管する。 ・親子開扉 1ヶ所 ・パーティションの仕様は置き型タイプとする
E302 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する。 書籍を保管する。 ・親子開扉 1ヶ所 ・パーティションの仕様は置き型タイプとする
E303 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E304 計算機室	<ul style="list-style-type: none"> ・計算機室として利用する ・片開扉2ヶ所設置
E305 演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生演習室として利用する ・親子開扉 1ヶ所
E306 資料室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書・資料等の保管として利用する ・親子開扉 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E307 化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・水・土壌試料の化学分析に利用する ・扉:親子扉 1ヶ所 ・原子吸光光度計上部に排気フードを設ける。その排気は同室のドラフトチャンバー排気系統へ接続する。
E308 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として使用する。 ・親子扉 1ヶ所
E309 微生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物に関する実験、分析を行う。 ・親子扉 1ヶ所
E310 生物実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物実験のための材料や試料の保管に使用する。 ・片開扉 1ヶ所
E311 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E312 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E313 研究室(1)	・標準プランとする
E314 資料室	・測量器具、書籍などを保管する。書籍を閲覧する。 ・扉:片開扉 1ヶ所
E315 研究室(1)	・標準プランとする
E316 研究室(2)	・標準プランとする
E317 研究室(3)	・標準プランとする
E318 研究室(4)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E319 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子扉 1ヶ所
E320 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 1ヶ所設置
E321 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子扉 1ヶ所
E322 外国人共同研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E322-2 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E323-1 第二共同研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・客員、教員、産学官連携研究員、ポスドク研究員の研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E324 研究室(4)	・標準プランとする
E325 研究室(5)	・標準プランとする
E326 研究室(2)	・院生研究室として使用する。 ・親子扉:1ヶ所設置
E327 研究室(3)	・教官(助手)研究室及び事務室に使用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉 1ヶ所設置
E401 -1 培養・低温実験室	・木質系植物細胞、微生物の培養を行うとともに、食材性昆虫・動物の飼育を行う。又、酸素精製。低温抽出などの低温実験を行う。 ・暗室の間仕切りはスチール製パーティションを用いて囲う。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置 ・E403への連絡通路を設ける。
E401 -2 暗室	・木質系植物細胞・微生物の光に対する反応実験及び写真の現像を行う。 ・片開き扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E402 -1 生化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・木質系植物細胞、微生物、食材性生物の生化学実験を行う。 ・床:防水処理、耐薬品性ラミネート一面張り。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:2ヶ所設置。 ・E401とE402-2への連絡通路を設ける。 ・E402-2との間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E402 -2 森林生化学院生室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林生化学分野の大学院生の居室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置
E403 -1 生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に関する実験、分析を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置
E403 -2 生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に関する実験、分析及びICP分析を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・ICP装置上部に排気フードを設ける。その排気はE403-1ドラフトチャンバー排気系統へ接続する。
E404 森林水文学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・気象計測機器、CO2濃度計などの検定、製作、室内実験等に利用する。 ・植物の光合成、蒸散能に関する実験及び分析を行う際に、高度空調設備を要する。 ・大空間のため部屋を間仕切り、50%を高度空調、50%を一般空調とする。 ・両開き扉:2ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置 ・LAN設備が必要 ・N405との間に連絡通路あり(W=0.85) ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E405 森林水文学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・水、ガス試料の化学分析に利用する。 ・E404との間に連絡通路が有り。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉*1ヶ所設置 ・乾燥棚の下に床用シンク

エリア(室名)	特殊条件
E406 化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・化学分析、化学合成、土壌分析等に利用する。 ・実験台1台あたりバーナー4ヶ所必要。 ・親子扉:2ヶ所設置 ・E407への連絡通路あり ・E407との間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E407 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー室及び院生研究室として利用する。 ・片開き扉:1ヶ所設置 ・E406への連絡通路を設置。
E408 森林水文学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・観測用機器の調整、野外測定器具や取り付け器具の製作や機器の保管に利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・狭い部屋なので、出来るだけ窓を広くとる。
E409 分子生物学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・木質系植物、微生物、食材性生物の分子生物学的実験を行う。 ・親子扉:2ヶ所設置
E410 助教授講師室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E411 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E412 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E413-1 分析・解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・GC-MS、GC、HPLC、プロテインシーケンサ、イオンクロマトなどにより、試料の分析及び解析などを行う。 ・親子扉: 1ヶ所設置。
E414 水文データ解析室(E413-2も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・水文、気象データの解析、院生の研究に利用する。 ・リモコンは2個(温度をパーテーションの左右で別々に操作可能とする) ・親子扉: 1ヶ所設置、片開扉: 1ヶ所設置 ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。 ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。
E415 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・教授室として利用する。 ・片開扉: 1ヶ所設置
E416 研究打ち合せ室	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、院生の研究打ち合わせ、事務担当者の執務、コピー、FAX等に利用する。 ・片開扉: 3ヶ所設置 ・E415とE417への連絡通路あり
E417 教員・院生研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生の研究室として利用する。 ・親子扉: 1ヶ所設置、片開扉: 2ヶ所設置 ・リモコンは2個(温度をパーテーションの左右で別々に操作可能とする)。 ・E416への連絡通路あり ・スチールパーテーションで仕切を設ける ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。

エリア(室名)	特殊条件
E418 教員・院生研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生の研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・リモコンは2個(温度をパーテーションの左右で別々に操作可能とする) ・スチールパーテーションで仕切を設ける ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。
E419 化学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E420 研究実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験に利用する。 ・NCアナライザー、液体クロマトグラフィなどを一定温度で必要があるため、24時間25℃に保つ必要がある。 ・扉:W=1.25×H=2.0×1ヶ所(親子開き) ・床:防水処理
E421 研究実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・X線装置などを用いた土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・ステンレス流し台 } : X線装置等冷却のため。 ・コンクリート製シンク (各1台) ・扉:W=1.25、H=2.0×1台(親子開き) ・床:防水処理・床:防水処理 ・年間、24時間25℃空調
E501 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・野外より採取したサンプルの処理、コンピュータによるデータ解析を行うと共に、院生研究室として利用する
E502 生態恒温実験室(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する生態恒温実験室(B)(C)(D)で飼育・栽培するハダニ類およびその餌植物と天敵類を持ち込んで、実験顕微鏡(コールドライト使用)下で行動観察と操作実験を行う ・片開扉:1ヶ所設置 親子扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E502 生態恒温実験室(B)(C)(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハダニ類を餌植物の栽培、ハダニおよび天敵類の飼育を行い、それらを用いて制御環境下での行動観察と操作実験を行う ・生態恒温実験室(A)に隣接するE502の区画を3つの小部屋に分割し、高度空調と人工照明(蛍光灯)によって飼育環境を独立に制御する ・日長を制御するため生態恒温実験室(B)は無窓とする ・片開扉:各々1ヶ所設置 ・各々の恒温室は独立に運転が出来るものとし、温度も可変で設定できるものとする。
E503-1 分子生態解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・分子生物学実験および遺伝子組換え実験(P2)に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置 ・E503-1とE503-2は、パーテーションにより仕切る
E503-2 分子生態解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・分子生物学実験および生化学実験等に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
E505 植物計測実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の生長計測に関する実験を行う
E506 植物生理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラフトチャンバー:W=1.5×1台。 ・陶器製流し台:実験器具洗浄、手洗い。 ・実験装置用給排水:オートマチル、高圧滅菌釜。 ・ガス設備:実験用コンロのため。 ・給湯設備:実験器具洗浄。 ・扉:W=1.25×H=1.8×1ヶ所(親子開き)、W=0.85×H=1.8×2ヶ所(片開き)
E507 環境ストレス生理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の環境ストレス生理に関する実験を行う

エリア(室名)	特殊条件
E508 低温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス流し台:手洗い。 ・実験装置用給排水:1cp装置。 ・ガス設備:要。 ・給湯設備:要。 ・扉:W=1.6×H=2.0×1ヶ所、W=1.4×H=2.0×1ヶ所 ・床:耐水処理
E509-1 化学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置 ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。 ・E509-2への連絡通路あり。
E509-2 化学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・E509-1への連絡通路あり。
E510 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E511 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータによるデータ解析、図書の保管を行うとともに、助手及び院生の研究室として利用する
E512 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E513 研究室(3)	・標準プランとする
E514 研究室(4)	・標準プランとする
E515 生態機能解析室	・捕食性節足動物を飼育し、それを用いた行動生態学的実験を行う
E516 研究室(1)	・標準プランとする
E517 研究室(2)	・標準プランとする
E518 研究室(3)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E519 データ解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、電子計算機によるデータ解析を行う ・片開扉:1ヶ所設置
E528 /529 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・パーテーションはスチールパーテーションとする。
E530 -1 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E530 -2 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・E5301-1への連絡通路あり。

【別表 2】 (F)

生物資源経済学共通

森林林業政策学

地域環境経済学

農学原論

比較農史学

食料環境政策学

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
F001 生物資源経済学専攻書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・集密書庫として使用 ・電動書架設置(収容冊数3万冊) ・空調は24時間運転とし、除湿器1台設置(備品)1台を設置予定のためドレン排水を設置する。 ・親子開扉:1ヶ所設置 ・F101と連絡する小荷物搬送機を設置する。
F002 生物資源経済学専攻書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・集密書庫として使用 ・電動書架設置(収容冊数3万5千冊) ・空調は24時間運転とし、除湿器(備品)1台を設置予定のためドレン排水を設置する ・親子開扉:1ヶ所設置
F003 生物資源経済学専攻書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・集密書庫として使用 ・電動書架設置(収容冊数3万5千冊) ・空調は24時間運転とし、除湿器(備品)1台を設置予定のためドレン排水を設置する ・親子開扉:1ヶ所設置
F004 生物資源経済学専攻会議室・演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室・演習室として使用する ・5年後には、集密書庫として使用する(収容冊数2万5千冊)ので床強度を確保する ・除湿器将来設置(排水対応) ・親子開扉:1ヶ所設置
F005 生物資源経済学専攻休憩室	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の休憩室または、病人控え室として使用する ・5年後には、集密書庫として使用する(収容冊数1万冊)ので床強度を確保する ・除湿器将来設置(排水対応) ・親子開扉:1ヶ所設置
F006 生物資源経済学専攻書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・集密書庫として使用 ・電動書架設置(収容冊数1万冊) ・空調は24時間運転とし、除湿器(備品)1台を設置予定のためドレン排水を設置する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
F007 生物資源経済学専攻書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・集密書庫として使用 ・電動書架設置(収容冊数2万5千冊) ・空調は24時間運転とし、除湿器1台設置(排水対応) ・親子開扉:1ヶ所設置
F101 生物資源経済学専攻司書室	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の事務室として使用する ・固定書架設置する(収容冊数5千冊) ・F001と連絡する小荷物搬送機を設置する。 ・親子開扉:1ヶ所設置
F102 生物資源経済学専攻司書室	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室として使用する ・固定書架設置する(収容冊数1千冊) ・片開扉:2ヶ所設置
F103 生物資源経済学共通室	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人用の教官室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
F104 生物資源経済学専攻事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻事務室として使用する ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置
F105 生物資源経済学専攻複写室	<ul style="list-style-type: none"> ・複写室として使用する ・コピー用紙 最高時50箱(500kg)保管される ・親子開扉:1ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
F201 生物資源経済学専攻会議室・演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室・演習室として使用する ・アコーデオンドアで区切られた2室の空調・換気設備は別系統で運転可能とする ・親子開扉: 1ヶ所及び片開扉: 1ヶ所設置
F202 生物資源経済学専攻会議室・演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室・演習室として使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置
F203 生物資源経済学共通室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官室として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F204 生物資源経済学共通室	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人用の教官室として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F301 生物資源経済学専攻学生院生ゼミ室	<ul style="list-style-type: none"> ・食料・環境経済学科学部生と生物資源経済学専攻院生による自主ゼミ室に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置 ・壁に画架を設置する(H2.0m)
F302 312 生物資源経済学専攻院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻院生各自の研究及び院生個人所有の書籍の保管(一人最大200冊程度)に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置 ・壁に画架を設置する(H2.0m)

エリア(室名)	特殊条件
F401 生物資源経済学専攻・教官研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官等研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F402 生物資源経済学専攻・教官研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官等研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F403 農業組織経営学教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F404 農業組織経営学助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F405 教員研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教員等の研究室として使用する(ゼミ演習室) ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.1m)
F406 教員研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教員等の研究室として使用する(教授室) ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.1m)

エリア(室名)	特殊条件
F407 生物資源経済学専攻・教官研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官等の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F408 生物資源経済学専攻・教官研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官等の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F409 農業組織経営学助手室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F410 演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、大学院生、学生のパソコン作業、小会議、懇話等の他、事務補佐員の用務室としても使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.0m)
F411 地域環境経済学分野教員研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.1m)
F412 教員研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・壁に画棧を設置する(H2.1m)

エリア(室名)	特殊条件
F501 農学原論分野院生等研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・分野所属の院生等の研究室として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F502 教官研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(教授室)として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F503 比較農史学分野教授研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(教授室)として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F504 比較農史学分野院生等研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・分野所属の院生等の研究室として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F505 教員等研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・食料・環境政策学分野研究室として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置
F506 教員等研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・助手研究室として使用する ・片開扉: 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
F507 農学原論分野助手研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(助手室)として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
F508 農学原論分野助教授研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(助教授室)として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
F509 比較農史学分野助教授研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(助教授室)として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
F510 比較農史学分野助手研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(助手)として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
F511 教員等研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(助教授室)として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
F512 教員等研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官研究室(教授室)として使用する ・片開扉:1ヶ所設置

【別表 2】 (G)

農産製造学
食環境学

栄養科学
食品生理機能学

生命有機化学
食品分子機能学

食品生物共通
生物機能変換学

酵素化学

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
G001 農産製造学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・食品製造工学研究設備の設置に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・行動学的及び電気生理学的動物実験に使用する ・区画はスチールパーテーションとする ・親子開扉:2ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画1)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気生理学的動物実験(マイクロダイアリス)に使用する ・片開扉:1ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画2)	<ul style="list-style-type: none"> ・行動学的及び生理学的動物実験に使用する(自発行動量および心拍・体温測定) ・片開扉:1ヶ所及び片引戸:1ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画3)	<ul style="list-style-type: none"> ・生理学的動物実験(呼吸交換比測定、トレッドミル)に使用する ・片引戸:1ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画4)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊泳能力測定動物実験に使用する ・片引戸:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
G002 栄養化学特殊実験室 (区画5)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気生理学的動物実験(慢性、急性、パッチクランプなど)に使用する ・片開扉:1ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画6及7)	<ul style="list-style-type: none"> ・G002で行う実験に用いる動物(ラット、マウス)の飼育に使用する ・換気については、区画6及7は同一系統とし、単独給排気とする。排気系統には脱臭フィルタを設け、屋上より外気へ開放する ・動物飼育のために、区画の温度を一定に保つ ・片開扉:2ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画8)	<ul style="list-style-type: none"> ・行動学的実験(条件場所嗜好試験及びオペラント実験)に使用する ・片引戸:1ヶ所設置
G002 栄養化学特殊実験室 (区画9)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織学的実験(クリオスタット、共焦点顕微鏡)に使用する ・片引戸:1ヶ所及び設置
G003 教官学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・食品成分等の機器分析装置を設置し使用する ・親子開扉:2ヶ所設置
G004 教官・学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・各種機器分析によって、有機化合物の構造決定を行うために使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・発熱機器多数 ・床:質量分析計本体の箇所に補強が必要。 ・空調は単独系統とする ・真空ポンプのオイルミストを屋外へ排出する排気設備を設ける

エリア(室名)	特殊条件
G005 インキュベーター室	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーター等の設置に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・特殊空調設備(恒温恒室):植物と微生物の培養保存のため恒温恒室とする
G006 学生実験用器具庫	<ul style="list-style-type: none"> ・食品生物科学科の学生実験に使用する機器の保管に使用する ・扉:引き戸 1ヶ所および親子開扉:1ヶ所設置 ・空調機(将来用)のスリーブを設置する。
G007 NMR室	<ul style="list-style-type: none"> ・NMR法によるタンパク質の立体構造解析を行うため使用する NMR超伝導磁石付近の温度を一定に保つため、高精度空調機を必要とする ・特殊空調は、NMR室のみとする ・ステンレス流し台は、SUS304非磁性タイプとする ・天井に転倒防止用U字型閉じフック 2t、1t各1ヶ所設置 ・親子開扉(H=2.2):2ヶ所及び片開扉:1ヶ所設置 ・床強度は1000kgf/m²。 ・He回収装置を設置する ・He回収室には酸素濃度計を設け酸欠時に人が室内に立ち入らないよう警告表示する。同時に強制換気を行う
G101 学生実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・食品生物科学科の学生実験に使用する試薬を保管するとともに必要量を小分けするために使用する ・床に蓋付き排水口を設置する ・親子開扉:1ヶ所設置
G102 学生実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品生物科学科の学生実験を行う ・片引戸(W1250):2ヶ所設置 ・床に蓋付き排水口を設置する
G103 学生控室	<ul style="list-style-type: none"> ・食品生物科学科の学生実験の控室として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
G104 学生実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス流し台: 器具の洗浄、酸アルカリ中和処理。 ・(削除) ・ガス設備: 実験用バーナー使用のため。 ・給湯設備: 恒温水槽用。 ・片引戸(W1250): 1ヶ所及び親子開扉: 1ヶ所設置
G201 農産製造学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・試料調製および分析装置を設置し使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置
G202 農産製造学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・一部を院生室(居室ゾーン)とし、その他に試料調製・食品製造実験装置及び分析装置を設置(実験室ゾーン)し使用する ・2台のドラフトチャンバーのダクトは共通に1本としパイプスペースに引き込む ・親子開扉: 2ヶ所及び片開扉2ヶ所設置 ・給湯: ガス湯沸器(実験室ゾーン) 電気湯沸器(居室ゾーン)
G203 生命有機化学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・生体試料の分離精製、動物培養細胞の維持、化学反応などに使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置
G204 生命有機化学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・主として有機化学の実験に使用する ・空調機については、部屋の東西部分で個別運転が可能とする ・ドラフトチャンパー排気については西側の2台を1系統とし、風量制御を行う ・親子開扉: 2ヶ所設置
G205 実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験使用器具保管、試薬の分注などに使用する ・片開扉 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
G206 研究室(1)	・標準プランとする
G207 研究室(1)	・標準プランとする
G208 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務職員が分野の事務業務を行う。蔵書を保管、学生のセミナー等に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置
G209 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・教授の居室に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置
G210 研究室(2)	・標準プランとする
G211 共同利用室	<ul style="list-style-type: none"> ・文献検索、論文作成、セミナー等に使用する ・片開扉: 1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉: 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
G301 酵素化学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞培養、免疫化学的・細胞生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
G302 食品生物科学第1セミナー室	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、小講演会等の会合や研究室単位の演習にも使用する ・引き戸:2ヶ所設置 ・ホワイトボード
G303 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
G304 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
G305 食品分子機能学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
G306 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
G307 食品生物科学小セミナー室	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のセミナー、研究打合せ、第1セミナー室(G302)の準備室に使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・ホワイトボード
G308 食品生物科学専攻会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻内の教官・院生の少人数の会議室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・ホワイトボード
G309 教官・院生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物化学的、分子生物学的実験を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
G310 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置
G311 食品分子機能学研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官・院生居室及び機器測定に使用する ・片開扉:1ヶ所設置
G401 酵素化学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・物理化学実験室、分光測定、熱測定、構造解析に関する実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
G402 (1) 酵素化学実験室1-(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・P2実験、酵素の精製、遺伝子操作などに使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置 ・発熱機器多数のため空調は単独系統とする
G402 (2) 酵素化学実験室1-(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・P1実験、酵素の精製、遺伝子操作、ペプチド合成、反応測定などに使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置 ・発熱機器多数のため空調は単独系統とする
G403 栄養化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・助手、学生居室に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・天井配線ダクト×4ヶ所(20A×2回路)
G404 栄養化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養化学実験に使用する ・親子開扉:2ヶ所設置 ・暗室、収納スペースとしてスチールパーテーションで各々区画を行う ・天井配線ダクト×2ヶ所(20A×2回路)・空調設備は、機器の発熱量が多いので単独系統とする ・空調設備は、機器の発熱量が多いので単独系統とする
G405 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・コンピュータ解析、蛋白質構造モデリング、データ整理及びミーティングに使用する ・片開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
G406 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
G407 酵素化学実験室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子解析実験に使用する ・親子開扉:1ヶ所、暗室用に片引戸:1ヶ所設置 ・暗室は、空調不要とする(天井扇設置、単独運転)
G408 酵素化学実験室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学実験室として使用する ・片開扉:1ヶ所設置
G409 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
G410 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
G411 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
G501 低温室	<ul style="list-style-type: none"> ・扉:片開扉 2ヶ所(エアータイトドア) ・壁:床シート巻き上げ ・コンセント:全て防水型 ・天井:リレーコンセント ・製氷器に給排水用ドレンが必要

エリア(室名)	特殊条件
G502 動物室	<ul style="list-style-type: none"> ・前々室: 靴の履き替えと外部環境遮断に使用する ・機械室: 空調機器等の収納 ・前室: 飼育器具の準備・洗浄・滅菌、及び動物の簡単な処置に使用する ・飼育室: 実験動物の飼育に使用する ・扉: 親子開扉: 1ヶ所 片引扉 1ヶ所 片開扉 1ヶ所 ・飼育の空調は恒温恒湿とし、特殊空調とする ・前室、前々室、機械室に関しては、一般空調とする ・飼育室の換気は、単独給排気とする。排気系統には脱臭フィルタを設け、屋上にて外気へ開放する ・飼育室以外の換気は、空調換気扇とする ・床清掃がしやすいように、床シートを壁に巻き上げる ・ステンレス流し台: 飼育ゲージなど大きな器具を洗浄。 ・実験装置用給排水: 大型オートクレーブに供する。 ・ガス設備: 大型オートクレーブに供する。 ・給湯設備: 器具洗浄のため。 ・扉: W=1.25×H=1.8×1ヶ所。(親子開扉:) ・床: 硬質塩ビシート ・壁: 床と壁との接合部は、清掃し易いように仕上げる。
G503 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的、分子生物学的実験に使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置 ・2E電源は、床から1m、手元開閉器は床から1.5mの高さに設置する
G504 教官・学生実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学実験室として使用する ・親子開扉: 1ヶ所設置
G505 細胞培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養化学分野の細胞培養実験室(P2実験)に使用する ・前室は空調不要とする ・前室以外の空調設備には高性能フィルターを設置する ・片開扉1ヶ所、前室には片引戸1ヶ所設置
G506 教官・学生実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品科学実験室として使用 ・親子開扉: 1ヶ所

【別表 2】 (Q)

図書室

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
Q101 農学部図書室・情報管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室用サーバー及び、コンピューターを配置し、HP管理、データベース管理を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・レイアウトは事業者の提案とする
Q102 農学部図書室・職員用休憩室	<ul style="list-style-type: none"> ・職員用休憩室には、テーブル、椅子を適宜配置して職員が昼食をとったり、休憩を行うことの出来るスペースとする。 ・休憩室にロッカールーム(10人分)を配しスチールパーティションで区切る。 ・片開き扉:1ヶ所設置 ・レイアウトは事業者の提案とする
Q103 農学部図書室・図書事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書業務を処理する事務スペース。閲覧系4名、整理係6名が事務処理を行う。整理係は作業スペースが業務の性格上、閲覧系よりも1.5倍のスペースが必要である。(ブックトラック、棚、作業机など) ・親子扉:1ヶ所設置 ・レイアウトは事業者の提案とする
Q104 農学部図書室・閲覧室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用者が図書室で所蔵する資料(図書、雑誌等)を閲覧利用するためのスペース。(資料配置用書架、閲覧机、椅子、新着雑誌架など配置)。中に、新聞、雑誌を配置し、くつろげるスペース。(棚、ソファなど配置)及び、資料検索用PC、複写機、マイクロリーダープリンター、製本機、カッター等機器、器具を備えた総合閲覧スペースとする。利用者窓口としてインフォメーション、サーキュレーション、レファレンス用カウンタを配置する ・親子扉:4ヶ所設置 ・BDS装置を配置するので、位置・幅・高さに配慮が必要 ・資料配置用書架は1万5千冊以上収納とする ・閲覧席数は80席以上とする ・レイアウトは事業者の提案とする
Q105 農学部図書室・特殊資料閲覧室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室で所蔵する特殊資料(貴重書、マイクロ資料等)を閲覧するためのスペース。(資料配置用キャビネット、閲覧机、椅子、マイクロリーダープリンターを配置する。) ・床:OAフローア ・両開き扉:1ヶ所設置 ・レイアウトは事業者の提案とする
Q106 農学部図書室・書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室で所蔵する図書の保存、保管スペースとしての機能及び利用者スペースとしての機能とを併せ持つスペース。書庫全体は全開架方式とし、固定書架、集密書架を資料の用途、性質により適宜配置する。貴重書、地図、マイクロ資料等、資料の性質、形等により通常の本架への配置が困難な特殊資料は、別途専用室を設ける等の配慮を必要とする。なお、書庫内に利用者用に閲覧室又は閲覧スペースを配置する ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:2ヶ所設置(更衣室) ・(削除) ・書庫内閲覧室は別空調とする ・(削除) ・レイアウトは事業者の提案とする ・地下1階から3階を連絡する小荷物搬送機を設置する ・蔵書総数は25万冊以上とする